

展示会のご案内

◇展示資料館 1F (9/19~10/14)

私の好きな花たちの写真展

◇展示温室 (9/28~10/14)

サボテン展

ダリア (キク科)

花が牡丹に似ているので、テンジクボタンとも呼ばれます。メキシコの高原地帯の原産で、夏の暑さは苦手です。地下部はサツマイモ様の塊根ですが、耐寒性はなく花後に掘りあげが必要です。

秋咲きバラ (バラ科)

秋バラが咲き始めました。春に比べて花の数は少なくなりますが、花の色が濃い目になり、香りも強くなる傾向があります。また、気温も低いので長い間バラを楽しむことができます。

サルビア 'イエロー マジェスティ'

(シソ科)

メキシコ原産のサルビアの園芸品種で、大きいものは2mにもなります。開花時期はサルビアの中で遅く、10~11月に黄色い花を咲かせます。

マユハケオモト

(ヒガンバナ科)

アフリカ大陸に自生する球根植物。花姿が眉刷毛(アイブローブラシ)、葉が万年青(オモト)に似ていることが和名の由来です。

ハマオモト (ヒガンバナ科)

アジアの広域に分布する海浜植物で、分布の北限は年平均気温15℃の線と一致します(ハマオモト線)。種子は海流によって運ばれます。

シュウメイギク

(キンポウゲ科)

名前に菊とついていますが、アネモネの仲間です。花びらのように見えるのはガクで、花びらはありません。

ホトギス (ユリ科)

東アジアに分布していますが、固有種の多さなどから日本が原産と考えられています。名前の由来は花の斑点が鳥のホトギスの胸の模様に見えることから名づけられました。他に園内では台湾ホトギスやシロホトギスなどを見ることができます。

コスモス (キク科)

メキシコ原産の一年草で、日本には明治初期に本格的に広まりました。明治後期には全国に普及し、現在では秋を代表する花の一つです。ピンク、白、マゼンタ等の花が咲き始めており、満開はグリーンフェア期間中の予定です。

アサザ (ミツガシワ科)

ユーラシア大陸に広く分布する多年生の水草。スイレンに似た葉を水面に浮かべ、初夏から秋にかけて、鮮やかな黄色の花を咲かせます。かつては、各地の湖沼やため池に見られましたが、今は絶滅危惧種のひとつとされています。環境省準絶滅危惧種(NT)。

アルテルナンテラ (ヒユ科)

カラーリーフの代表的な植物です。花壇の縁取りや寄せ植えに多用されます。和名はモヨウビユ。中~南米原産で、現地では多年草ですが、霜に当たると枯れるので1年草扱いをします。

